

## 南ア治安情報(西ケープ州以外)

【2023 年1月～3月】

在南アフリカ共和国日本大使館

**南アでは、犯罪者が銃やナイフを持っていることがあるため**

**万が一被害に遭いそうになった場合**

**抵抗はせず、命を最優先に守る行動をお願いします**

以下、頻度の高い犯罪類型とその対策、最近の事案・傾向です。

### 1 強盗・窃盗被害(スマートフォンを標的)

- (1) 1月31日(火)午後4時ころ、邦人が、ヨハネスブルグ市内観光バスを利用し、ローズバンクの停留所で下車、ホテル前にてUberを待っていたところ、乗車直前に、所持していたスマートフォンを強奪される被害に遭いました。邦人は、スマートフォンをズボンに結束していたのですが、後方より強く引っ張られ、顔面を殴られて奪われたとのことでした。
- (2) 3月21日(火)午後5時30分ころ、邦人がダーバン・Umhlanaga Rocks地区所在のThe Pearls Hotel付近の混み合った場所を徒歩移動中、ズボン前ポケットに収納(ポケットからはみ出してはいないが何か収納されているように見える)していたスマートフォンを盗まれる被害に遭いました。スマートフォンがなくなっていることに気がつく数分前に、邦人は見知らぬ男性と肩が軽く接触し、その男性に「ごめん、大丈夫か」等声をかけられながらボディータッチされる出来事があったので、この際にスリとられたものと見られます。また、ぶつかった男性が気を引いている間に共犯者がスリとった可能性もあります。

### 【対策】

- 公共の場所でスマートフォンを手に持って移動する、Uberなどの到着状況を確認するなど周囲に見える形で携行しない。
- 飲食店などで、テーブルの上にスマートフォンを置かない。

- オープンテラス席、道路に面した店が特に狙われている点に留意し、店や席を選定する。
- 公共の場所で通話が必要な場合は、その場に応じて狙われにくい適切な場所に移動し、周囲の状況に警戒しつつ利用する。
- Uberが到着した際、自分が予約したUberであると主張する人物が現れ、アプリで予約内容を確認するよう仕向けスマートフォンをひったくる手口がある事を念頭に、Uber到着時に見知らぬ人物に話しかけられた時は、スマートフォンを取り出さないなど所持品の保管に気をつける。
- 平素から鞆を斜め掛けにして体の前で保持し、ズボンのポケット(特に後ろ)にスマートフォンや財布を収納しない。
- 混み合った場所は出来るだけ避ける、また、わざとぶつかる、買い物カートをつつける、飲食物をこぼす等標的の気を引いている間に所持品を盗む手口があるので、この様な状況下に置かれた場合、スリ等の可能性を念頭に、鞆などの所持品の管理に一層注意する。
- 万が一、スマートフォンを奪われそうになった場合は、絶対に抵抗しない。スマートフォンを盗まれた場合は、遠隔で初期化するなど悪用されないように予め設定する。

## 2 電力問題

### (1) 計画停電に乗じた犯罪の増加

計画停電時の暗闇に乗り、住宅対象の侵入窃盗・強盗、カージャック、自動車盗、車上ねらいなど犯罪が増加していると言われています。停電する地域や時間帯が発表されるため、賊はそのような情報に基づき、停電中の地域で犯行機会を伺っています。

#### 【対策】

- 住居の警備対策(特にアラーム機器)を点検する。

停電時においても、正常なバッテリーであればアラーム、ゲートモーター等は数時間から数日稼働します。頻回の計画停電等によりバッテリーが劣化している場合、短時間で尽きてしまいますので、新しいバッテリーに交換する等してください。

アラームに不具合が発生している場合、放置せずに契約警備会社等に連絡して修繕してください。

時折、アラームを作動させて警備会社に通報されているか、警備員が臨場するか等機能テストを行ってください。

- 電気を不要とする住居の物的警備対策を強化する。

鉄格子の増強、ソーラーライトによる敷地内外の照明増強、外壁上へのスパイク設置等。

→夜間の移動を控える。

→車を路上に駐車しない。自宅の場合、庭先に駐車せず車庫内に駐車する。

## (2) 抗議行動

電力問題などの理由から、3月21日に、当地第二与党 EFF 党により National Shutdown と称される抗議行動が全国的に行われ、生活に影響を与えました。今後も、各地で各種抗議行動が発生する可能性がありますので、最新の情報を入手し注意してください。平穩に進行している抗議行動であっても、些細な事をきっかけに激化、他の暴力的事象に発展する可能性がありますので、抗議行動が行われている場所には近づかないなど注意してください。

## (3) ブラックアウト

計画停電が頻発かつ長時間にわたり実施され、改善の兆しは見られません。大規模な完全電力消失(ブラックアウト)の可能性も指摘されています。停電により、短時間で非常に困難な状況に置かれる可能性も否定できないため、3月に当館から発出した <https://www.za.emb-japan.go.jp/files/100481968.pdf> を参考に平素から生活面及び安全面の対策を講じてください。

## 3 交通事故

報道によりますと、年末から年始の休暇シーズンだけで1,400名以上の方が交通事故で亡くなったとのことです。年間の交通事故による近年の死亡者数は12,000名～14,000名と高水準で推移しています。当地において車での移動は必須ですので、犯罪のみならず交通事故への注意も必要です。

(参考)日本における年間の交通事故による死亡者数は、警察庁の発表によると令和4年中で2,610人でした。当地は、国土が日本の約2倍、人口は約半分。

また、幹線道路であってもポットホールと呼ばれる穴が各所に存在し、ポットホールにタイヤが落ちると、パンクや場合によっては走行困難となる損傷が発生する可能性があります。速度を控え、車間距離を充分確保し、ポットホールを早期に

発見して回避する必要があります。タイヤの空気圧をやや高めに設定することで、タイヤが落ちた際の損傷を軽減と言われていますので、給油時のこまめな空気圧の確認と調整やその他車両整備に努めてください。

#### 【対策】

- スピードを超過しない、飲酒運転をしないなど交通法規を遵守する。
- 車間距離を十分に確保し、周囲や路面の状況をよく確認する(犯罪予防面でも重要)。
- 夜間の運転を控える(犯罪予防面でも重要)。
- 目的地までの経路、交通状況、道路状況を事前に確認する(犯罪予防面でも重要)。
- 事故に巻き込まれた場合に必要となる連絡先(保険会社等)を電話に登録しておく。

#### 【万が一交通事故に巻き込まれた場合】

- 負傷者がいる場合、救護措置(法的義務)を講ずる。
- 警察へ通報する(24時間以内の警察への届け出義務)。
- その場で警察等を待つのが危険な場合、警察に通報した上で安全が確保できる場所まで移動する。
- 家族、同僚、契約警備会社、契約保険会社等に連絡し、応援を要請する。
- 車両のレッカー移動が必要な場合、自身(保険会社)が依頼した会社が確認する。依頼していないレッカー会社が勝手に移動させ、事後に思わぬ料金を請求される場合があるので注意する。